

新規隊員の自己紹介 ～自然豊かな小野町に惹かれて～



2月に開かれた「ひなめぐり」新聞やTVで取り上げられました!

はじめまして。1月に夫婦で隊員になりました、穴戸佳織里です。

東京に住んでいましたが、夫の出身地である福島への移住を考えていました。仕事と住まいを探すなか、地域の協力活動を行い、定住・定着を図る「地域おこし協力隊」制度を知りました。

福島県内各地を調べましたが、自然環境や受け入れ体制などに魅力を感じ小野町に決めました。

私の活動場所は「小野町商工会」で、商工会のイベントへの参画・運営、地域産品の活用検討など進めていく予定です。前職は大学の図書館で企画・広報などを担当していて、そうした経験も生かしながら町内活性化につながる活動をしていきたいと思っています。

最後に趣味ですが、本が好きです。本の魅力を紹介し合う「ビブリオバトル」というイベントもやっていました。夫婦で山登りや釣りなどアウトドアも楽しめます。

これから皆さんの力をお借りしながら、活動を通じて小野町の魅力をPRしていきたいと思っています。よろしくお願いします。

ふるさと小野町会

ふれあい通信



吉田 正喜

- 和名田出身
- 埼玉支部

ふるさとへ

十数年前ホタルの飼育で記載させていただいた、和名田出身の吉田正喜です。

ホタル飼育は今でも続いており、ホタルの餌になるタニシなどを1時間半くらいかけて埼玉県の山奥まで取りに行き育てています。育てたホタルはホタルドーム(ビニールハウス)に放して、鑑賞会を開いており、約1,000人の方々が訪れて歓声を上げて見てくれるのが楽しみです。

私が和名田に住んでいたころ、外は真っ暗闇でホタルなどは珍しくなく、たくさん飛んでいました。都会ではなかなか見られないも

のです。喜んで見てくれる人がいる限り、鑑賞会を続けていこうと思います。

先日帰郷する機会があり、夏井・小野新町周辺を歩いてみました。夏井川沿いの千本桜は花の頃にはさぞみごとだろうと感心しました。

10月半ばの田んぼには黄金色の稲穂が刈り取りを待っているように頭を垂れていました。しばらくぶりにゆっくりと見る光景に昔を思い出しました。

私が集団就職で旅立った夏井駅は駅舎も無くなり、無人駅となってホームには待合室があるのみでした。今は亡き父が駅舎の陰で見送りながら泣いていたのを思い出しました。

近くに小野インターもあり、車の便はとともよくなったので夏井や小野新町は通過していただくになっているのでしょうか。

周辺には小町温泉や千本桜などがあるので、施設を少し整備して若者に流行のイベントで町を盛り上げていけないものではないのでしょうか。一時的にでも町へ来て、見て、知っていただければ少しずつでも変わっていくように思います。

この町を離れ長い年月が経ち、後期高齢者となりましたが、帰郷すると15歳の頃の自分に出会いそうな、そんな思いがあります。

かつてのにぎわいを取り戻していただけたらと勝手ながら願っています。